



バカラ村

2026 年 10 月 9 日 19:08

## 中間選挙まで攻撃ない

昨夜の深夜 1 時頃、トランプ大統領から以下の発言が伝わりました。

- ・ 「中間選挙前にイランを攻撃することはない」
- ・ 「イランと建設的な対話を進めている」

この発言を受けて中東情勢の緊迫化懸念が後退し、原油価格が下落。連れてインフレ懸念も和らいだことから、ドル円は 158.36 円から 157.52 円まで急落する場面がありました。

中間選挙後に攻撃がある、と解釈した参加者もいるようで、下落も長続きはせず、その後は押し目買いが入って 158.25 円付近まで買い戻されており、依然として高値圏での揉み合いが継続しています。

10月 09, 2026 18:53 UTC+9、fxbaccaratがTradingView.comで作成

米ドル／日本円・15・FXCM 始値158.248 高値158.290 安値158.243 終値158.290



TradingView

ドル円：15 分足

膠着状態を打破するきっかけが欲しい地合いですが、相場が本格的に動くトリガーとして注目されるのは来週水曜日の米 CPI（消費者物価指数）です。市場予想通りの結果であれば反応は限られそうですが、上振れ・下振れのサプライズが出れば、その結果に沿った方向へとドルが大きく動き出す契機になると見ています。

## ユーロドル、ショートカバー

一方、ユーロドルはショートカバー（買い戻し）主導の動きとなり、一時 1.1242 まで上昇しました。トレードの方は、昨日の note で触れた「独仏国債の利回りスプレッド」を先行指標として意識しながらトレードを組み立てました。

昨晚の段階ではスプレッドがユーロドルに先行して動いてくれたため上手く利益を取ることができましたが、本日はスプレッドの動き以上にユーロドルのショートカバーの圧力が勝り、綺麗には波に乗れませんでした。

10月 09, 2026 18:56 UTC+9、fxbaccaratがTradingView.comで作成



**TradingView**

ドイツとフランスのスプレッド：ローソク足

ユーロドル：青色ライン

15 分足

とはいえ、大局としては依然として強い相関関係を保った推移が続いており、欧州の信用リスクを測る上で有効な指標であることに変わりはありません。

ちなみに、ドイツとフランスの金利になるため、そのチャ

ートがあるのは欧州市場の時間帯だけになります。

## 相場のパターンを先に見つけた方が勝つ

最近の相場環境を見ていて強く感じるのは、「エッジ（優位性）の賞味期限が非常に短くなっている」という点です。

SNS 等による情報拡散のスピードに加え、昨今は AI の普及によって市場参加者が同じようなデータや歪みに一斉に群がるため、せっかく機能していたパターンもすぐに市場に織り込まれ、優位性を失ってしまいます。

現在ワークしている「ユーロドルと独仏スプレッドの相関」にしても、やがてタイムラグが消失して完全な同時線になったり、あるいは相関関係そのものが崩れたりする時期が訪れるはずです。

相場の世界で勝ち続けるためには、過去の手法に固執するのではなく、「今、市場で何がテーマになり、どんな新しい歪みやパターンが発生しているのか」を誰よりも早く見つけ出し、機動的に立ち回っていく姿勢が求められます。

明日は投資戦略フェアです。ご参加の皆様よろしくお願いいたします。

60 分間のセミナーを 1 人でするため、飽きる部分もあるかもしれませんが、最後までトレードの役に立つ内容になっていると思います。



トレーダーズショップ: バカラ村の FX トレードメルマガ